

等中間進退難治定歟早經海路可參會之旨有慰勸之仰云云

〔沙石集〕〔可〕芳心有人事

故葛西壹岐前司トイヒシハ秩父ノスエニテ弓箭ノ道エタリシ人也輪田ノ左衛門世ヲミダリシ時葛西ノ兵衛トイヒテアラ手ニテ鬼コノメノヤウナリシ輪田ガ一門ヲカケテラジタリシ武主也心モタケクナサケモ有ケル人也故鎌倉ノ右大將家ノ御時武藏ノ江戸子細アリテ彼江戸ヲメシテ葛西ニタビケルヲ葛西ノ兵衛申ケルハ御恩ヲ蒙リ候ハ親キ者共ヲモカヘリミムタメホリ身一ツハトテモカクモ候ヌベシ江所ハシタシク候僻事候ハメシテ他人ニユソタビ候ハメト申ニイカデ給ラザルベキモシ給ハラズバ汝ガ所領モ召取ルベシトシカリ給ケレドモ御勘當蒙ルホドノコトバ運ノキハマリニテコソ候ハメ方ヲヨバズサレバトテ給ハルマジキキ所領ヲバ争カ給ベキト申シケレバ江所モエトリ給ハズ

〔相州文書〕圓覺寺亨當寺領略○中 武藏國江戶郷内前島略○中

地頭職事任去々年十一月八日官符并關東安堵等可令知行給之狀如件

建武四年七月十日

謹上 圓覺寺長老

左馬頭花押直義○足

〔春波樓筆記〕永祿年間の江戸の圖を見るに南は金洲崎、白銀臺、西は麻布、飯倉、今井村、今の江戸見坂邊を云ふ、櫻田村、今の霞が關なり、北は神田川、湯島、忍ヶ岡、今の上野なり、不忍池より下谷の方へ流る川あり、また荒川は今の千住川、淺草觀音は島の如し、又芝通、日本橋邊の町々、小川町、下谷、本所、深川、皆淺海にして、池の如し、淺草海苔の名明らかかなり、海の漸々阜となる事は、爰を以て知るべし、今より十億萬年を経る時は、此日本亞墨利加の地と接し續くなるべし、

〔望海每談〕武藏の國にて、今の上野を忍の岡と云、湯島天神の臺を向ふの岡と云、谷中の方を入